

## 「どう生ききたいか」を支えるケア

## 「どう生ききたいか」を支えるケア

---



お姉さんを家で看病した経験から「家の力」を実感した秋山さんは、淀川キリスト教病院で訪問看護師としての研修を受け、1年後、旦那さんの転勤に伴って東京に引っ越してきたのを機に、医療法人春峰会白十字訪問看護ステーションの一員となった。これは、秋山さんのお姉さんがお世話になった在宅医療チームが立ち上げた訪問看護ステーションだ。

現在は、株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーションと名前が変わり、秋山さんが代表取締役を務めている。

「会社の社長になるつもりなんて、まったくなかったんですけれど笑」。そう言って笑う秋山さんが、なぜ、会社を立ち上げたのかと言うと、医療法人の理事長、院長が相次いで病に倒れ、法

人をたたまざるを得なかったから。その際、「メンバーがバラバラになって、それぞれ就職先を見つける」という選択肢もあった。そのほうが普通の選択肢だったかもしれない。それを選ばなかったのは、「自分たちがやってきた看護の理念を守りたかったから」だ。

「私たちは、在宅医療のパイオニアである佐藤智先生が始められた在宅ケアの精神を受け継いでいました。『病気は家庭で治すもの』『自分の健康は自分で守るもの』というのが先生が掲げていた二大モットー。在宅ケアでは『患者さんご家族がどのように病気と向き合い、最期をどのように生ききるか』を常に真ん中に据えて、がん患者さんの在宅ホスピスまで行っていたのです。メンバーがバラバラになることで、新しく就職した施設の方針や経営に左右されて、自分たちが守ってきた在宅ケアのあり方を失いたくなかったのです」

- 印刷
- PDF

---

Source URL: <https://www.novartis.com/jp-ja/care-that-supports-how-you-want-live>

List of links present in page

- <https://www.novartis.com/jp-ja/jp-ja/care-that-supports-how-you-want-live>
- <https://www.novartis.com/jp-ja/jp-ja/node/14001/printable/print>
- <https://www.novartis.com/jp-ja/jp-ja/node/14001/printable/pdf>